

第2回生駒市立病院管理運営協議会 会議録（要旨）

- 日 時 平成28年2月24日（水）午後7時00分から午後8時30分
- 場 所 生駒市立病院 7階講堂・交流センター
- 出席者

- (1) 会 員 小紫 雅史、今村 正敏、井上 雅智、山上 正仁、成田 研二、前野見依子、原田 保司、藤澤 清二、藤堂 宏子
- (2) 事務局 【生駒市】上野こども健康部長、増田こども健康部次長、石田病院事業推進課長、清水病院事業推進課課長補佐、奥野病院事業推進課主査
【生駒市立病院】住友事務長、木下看護部長、漆間事務次長、橋本総務課主任、高見総務課主任

- 傍聴者数 4名

■ 会議の内容

1 開会

事務局から飯田会員の欠席及び市外転出による会員辞退の申出があり、新たに市民公募を行う旨の報告を行った。

2 会員紹介及びご挨拶

【事務局】今回会員に御就任いただきました皆様をご紹介します。医師会等医療従事者として、一般社団法人、奈良県病院協会理事で近畿大学医学部奈良病院 病院長の井上雅智様でございます。

【井上会員】 井上でございます。今回から参加させていただくことになりましたので、よろしくお願いいたします。

【事務局】 同じく、医師会等医療従事者として、一般社団法人、生駒市医師会副会長 山上正仁様でございます。

【山上会員】 山上でございます。医師会としましては、生駒市立病院に地域の中核的な病院、ひいては生駒の地域支援病院になっていただくことを期待しておりますので、皆様よろしくお願いいたします。

3 前回会議内容の確認

【事務局】 前回の会議では、開院後の病院運営状況の報告を行い、会員の方から地域別年齢別の患者数は把握しているのか、また、市民の意見を聞く機会について、等のご意見がございました。本日は、地域別の外来患者数の資料、また、市立病院に設置しておりますご意見箱の内容と対応についてまとめた資料をご用意しております。また、次回からテーマを決めて議論することとなり、今回は市立病院のPRのあり方をテーマとして議論することとなりました。

4 報告案件

(1) 市立病院運営状況について

【事務局】

① 患者数、収支等

○平成27年6月～平成28年1月の患者数について

- ・各月の外来患者数は、6月の一日平均41.4人から翌1月の一日平均89.0人と順調に伸びてきています。
- ・診療科別の外来患者数の推移は、内科が1番多く、外科は、10月にやっと一日平均10.3人と二桁にのりました。また、1月から標榜した形成外科は、163人、一日平均5.3人となっています。小児科は、12月に275人、一日平均8.9人と多くなっていますが、主な要因としてはインフルエンザの患者による増です。産婦人

科は、年明けから分娩数が増えている状況です。

- ・紹介患者数は、6月から1月で970件、紹介率は34.3%です。
- ・各月の入院患者数では、内科が増えてきています。1月から病床数を153床に増やして、受け入れやすくしています。内科系で1月は51.0人受け入れています。1月に173人が入院し、160人が退院しており、平均在院日数は12.5日で推移しています。
- ・救急患者数は、生駒市消防と他市消防ともに、開院から搬送していただいております。150～170件の受入件数で推移しています。なお、9月は出動件数自体が下がっているため、受入れ件数も下がっています。
- ・手術件数は、11月から増えつつありますが、特に1月から標榜している形成外科の53件、1.7件/日の手術件数が増加の要因です。
- ・稼働可能病床数は、1月に5階の1病棟を開棟し、153床となり、残りは1病棟となりました。

○人員体制

- ・平成28年1月末現在、医師数が常勤換算で20.53人、開院当初から常勤医が増えています。また、今後の予定として、3月から麻酔科常勤医師1人が、4月からリハビリ科と整形外科の常勤医師が各1人ずつ入職予定です。さらに、内科の外来患者数増に対応するため、3月、4月で、特に糖尿病を中心に診る内科医の非常勤医師2名が入職予定です。
- ・平成28年1月末現在、看護師数が92.5人で、4月に入職予定が13人です。また、11月から皮膚・排泄ケアの認定看護師が入職しています。
- ・作業療法士は、1月から1人入職しています。
- ・管理栄養士は、現在3名となっています。

○収支実績

- ・収入自体は徐々に増えてきているものの、経常利益ではマイナスが続いています。
- ・人件費は月に約1億1000万円を超えてきています。何とか、収入ベースで人件費分は上回っていきたいと考えています。
- ・医療機器の減価償却費が月に約2,600万円かかっていますが、毎年毎年減ってくることから、5年目の指定管理者負担金の納付までには黒字化していきたいと考えています。
- ・12月度の人件費が下がっているのは、賞与引当金の戻しが原因です。

●意見、質疑なし

② 地域医療連携の取組

【事務局】

- ・開業医の先生方や地域の介護系施設からご紹介いただき、現在紹介率34.3%で推移しています。
- ・病診連携談話会の開催（第1回：平成27年8月27日、参加者22名、第2回：平成28年2月25日予定）
- ・現在で登録医が31施設・38名、協力医療機関連携施設5施設です。
- ・12月は、152人も紹介患者が受診されました。
- ・市立病院の放射線や内視鏡検査については、MRI検査で多くの紹介患者がご利用いただいている状況です。
- ・今後もスムーズな入院、受け入れを行っていき、地域に貢献していきたいと考えています。

●意見、質疑なし

③ 前回会議からの報告

【事務局】

- 地域別の外来患者数のデータを紹介

- ・外来患者総数 8, 810 人のうち、市内患者は 7, 157 人で 81% とほとんどが市内から来院されています。
- ・市内の各地区からの来院割合は資料のとおりです。(東地区 15%、西地区 16%、南地区 16%、北地区 9%、中地区 25%)
- 患者・家族からのご意見と対応について報告(9月～12月分)
 - ・病棟での電子レンジの設置要望に対し、4、5階の病棟に設置しました。
 - ・病棟での給湯器の設置要望に対し、現在、設置準備を行っています。
 - ・トイレクリーナーの設置要望に対し、12月に全館設置しました。
 - ・Wi-Fiの利用環境の要望に対し、病棟階での利用環境は整備できましたが、外来エリアでは利用環境の整備ができていない状況です。
 - ・カップコーヒーの販売要望に対し、売店での販売を開始しました。
 - ・トイレのくず入れの改善要望に対し、足踏み式に改善しました。
 - ・病院職員の電話対応や患者への説明についての要望に対し、各部署と協議し、接遇を強化しているところです。
 - ・2月5日に外部から抜き打ちで院内をラウンドしてもらい、職員の接遇チェックを行いました。今後調査レポートが上がってきます。また、2月15日から20日の間、外来患者対象にアンケート調査を実施しました。集計後に順次改善していきたいと考えています。
 - ・前回にご意見頂いた、外来待合のテレビ設置要望と傘袋自動装着機の改善要望については、現在のところまだ対応できていません。

○市からの補足説明

- ・前回会議で、会員から歩行者通路の案内看板が見えにくいとのご意見をいただき、先週末に案内看板が植え込み等で見えにくくならないように少し高い位置に配置させていただきました。
- ・東生駒駅前に市立病院の案内表示がないとの市民からご意見に対して、近鉄と協議して駅改札前に案内表示を設置させていただきました。
- ・お車でお越しの方のために、国道交差点周辺の3箇所に案内表示を設置する方向で作業を進めており、3月中旬には完了予定です。

●意見・質疑

【山上会員】 収支計画・実績を見るとすごい数字でビックリしています。達成率が3割もいってない状況で、これは事業計画自体に問題があったのか、病院をつくってしまったのが問題なのか、もしくは実際に運用を行っていく方に問題があったのかという非常に大きな問題があるかと思えます。その辺は委員の先生、市民の方からご意見をいただき医師会から意見をいうことではないと思いますが。やはり病院として、紹介したくなる病院になっていただくことが一番大事なことだと思います。色々な点があると思いますが、少なくとも救急をやっていただく上で、来年度から整形外科の先生が来られるということですが、脳外科も救急を行う上で非常に大事な科なので、今後、常勤の先生の赴任という計画があるのか伺いたい。

【小紫会長】 大きくは2点かと思えます。1つは計画と比べて外来、入院患者数にかい離があるというところへの考え方と2つ目は救急、脳外科の医師に関するところについて、回答をお願いします。

【今村副会長】 我々も計画に対して実績が低く出ているので、辛い面、最初の見通しが甘かったのかと思っているのですが、我々はいろいろな地域で病院を開設しており、生駒市立病院においては、市民のみなさんの期待があり開院しているので、甘い数字になったのかもしれませんが、山上先生にご指摘されたように受け入れ態勢にも確かに問題があったと思えます。その点は反省して、今後、それを少しずつ取り戻すべく努力したいと思います。2点目の脳外科の開設については、我々病院も救急を非常に大切にして

いますので、そういう意味でも特に脳外科はなるべく早く開設したいと頑張っています。ただ、医師確保という面から言うとまだ少し難しいので、今年から来年ぐらいで何とかしようということで計画しております。

【小紫会長】 他にいかがでしょうか。救急に関して、市立病院開院後、市内病院への救急受入搬送率はどのぐらい伸びているのか、会員の皆様に共有していただく意味も含めてご説明いただければと思うのですが。

【事務局】 9月から11月の3ヶ月の全時間帯で生駒市内病院への救急搬送につきましては、平成26年度と同期の比較をしますと、11.4%増えております。当直時間帯につきましては、平成26年度同期の比較をしますと、15.6%市内の受入が増えております。そのうち、市立病院ができることによりまして、市内の受入搬送率が上がっているというデータが出ております。

【小紫会長】 大体、何%から何%ぐらいに上がっていますか。

【事務局】 全時間帯でいきますと、市内病院で約73%。当直時間帯では、約71%が市内病院で救急搬送が受け入れているということでございます。

【小紫会長】 大体、全時間帯で60%から70%ぐらいに、当直時間帯だと55%ぐらいから70%ぐらいに受入率が推移しているということですね。一定の伸びは出ていますが、更なる体制づくりが引き続き必要だと思っています。

他にご意見等はございませんか。

【藤堂会員】 救急について、先程、山上先生から脳外科の話が出ましたが、救急搬送で市立病院が受け入れた患者様の病状はどのようなものが多いのですか。それと救急搬送受入の結果、病状によっては対応もその後も様々だとは存じますが、適切に対応されて無事回復されたなど良い結果が出ているのかどうかについて教えてください。

【今村副会長】 今、きちっとしたデータは持っていないのですが、常勤が24時間待機している科については依頼があれば受け入れています。内科系・心臓関係・消化器関係・一般外科関係は比較的スムーズに受け入れています。ただ、山上先生の指摘にありましたように、脳外科の患者様になると常勤がいないので、場合によっては初期手当をする、あるいは診断をして、それから他の病院に転院してもらうという方法はありますが、基本的には受入れが悪い状況です。それ以外の耳鼻科・眼科は市立病院では対応できないので、救急で多少対応できる面もありますが、より専門的になった場合にはそういう病院にお願いしています。結果的にそういう事に関しては受入れが悪い状況です。

【藤堂会員】 ご回答ありがとうございます。市民がこの病院があるから安心だと思えるためには、いろんな病気の方の受入れが出来て、適切に対応していただけるという、安心感が必要だと思ってお尋ねしました。

【今村副会長】 今後、そういうような診療が出来るようにしていきたいと思えます。

5 協議案件

(1) 市立病院のPRのあり方について

【小紫会長】 市立病院のPRとしては、大きくは、市民に対するPRと地域の診療所や病院との、いわゆる病病・病診連携の中でのPRがあると思います。これからは会員の皆様からご意見をいただきながら、今後の市立病院の運営に生かしていきたいと思えます。

【事務局】 市立病院の今までの取組み実績として、8月1日に院内で「サマーフェスタ」を開催し、医療講座や見学会などさまざまな体験をしてもらいました。さらに、8月22日には、親子見学会を実施し、90名の方が参加していただきました。このように何回も見学会を実施し、病院に親しみを持っていただけたらと考えています。また、医療講演会につきましては、12月末までに21講座1,480人の方に聴講していただき、

院内での医療講演会では希望者に見学会もしていただきました。

次に、市の取組みとしては、市ホームページから市立病院ホームページへのリンク、広報いこまでのイベント、医療講座の案内記事や医師や診療科の紹介記事などの随時掲載、「親子見学会」の後援、福祉と健康のつどいでの今村院長への講演講師依頼などを行いました。また、その他として、市立病院4階ひかり庭の花壇の剪定や水やりなどの市民ボランティア活動や市民からの絵画の寄贈について協力させていただきました。

●意見、質疑等

【藤澤会員】 3月18日に東生駒自治会館で、生駒市立病院の浴野先生をお招きしての講演会がありますので、お願いにきました。今後ともよろしく願いいたします。

【小紫会長】 ありがとうございます。市立病院と地域との連携が良い形で出来ていけばいいと思います。

【藤堂会員】 意見箱に入ったご意見に対しての対応の一覧表を添付していただいておりますが、こういったご意見は大体匿名でしょうか。ご意見をいただいた方ご本人に回答できる形ではなく、匿名ということですよ。そうすると病院に良い印象を持たないまま退院された方がいる可能性があると思うので、個人情報に関わる部分は除いて、苦情やご意見に対しての改善点・プラスの面を病院のホームページなどにアップして、すぐに対応していることをアピールすることもPRにつながるのではないかと思います。

【小紫会長】 ご意見に対しての対応については、市立病院内に貼っていますよね。退院された方がWEBで見れたりとか、その辺り何か考えておられますか。

【事務局】 全て貼り出しているわけではなく、ほんの一部です。ほぼ全てが匿名の方なので。順次続けていきたいと思っております。

【小紫会長】 WEBサイトでも、改善点などを中心にアップすることは、出来るものですか。

【事務局】 今すぐにはできませんが、検討していきます。

【藤堂会員】 ホームページの更新が遅れていて、現実と違う情報が載っていたのですが、現在はそのズレは生じていないのですか。

【事務局】 ホームページの方で失礼なことがあったので、目を光らせているのですが、あればすぐ変えていきます。

【小紫会長】 高齢者の方とかはWEBで見ない方もいると思うのですが、紙での情報の更新も都度都度やっておられるとか、市役所も連携して最新の情報が高齢者の方に届く工夫はされていますか。

【事務局】 外来予定表は、変更があれば、紙をその都度変えて出しています。月が替わるところで、いち早くを目指してはいますが、確定が遅くなってご迷惑をかけているところは、なるべく早く変更する形で進めたいと思っております。

【小紫会長】 毎月は無理ですが、広報誌に節目節目のところでも外来予定表などを市役所としても掲載していきたいと思っております。

【原田会員】 政府の医療方針として、2次医療の場合は紹介状等がなければ、医療費が上乘せされる方針が出ましたけど、当病院は1次医療、2次医療併用していると理解しているのですが、その辺り政府の方針と市立病院との兼ね合いはどのようになっていますか。

【小紫会長】 市立病院は、紹介状がなくても紹介料を取る運用になっていません。事務局で追加することがありますか。

【今村副会長】 平成28年からは、高度先進病院・大学病院などでは紹介状なしで受診すると、初診料に5千円プラスされますが、我々は、そこまでの規模ではありません。500床以上の病院で、生駒市立病院はそういう規定にはなっていないし、考えていま

せん。駅からの看板がないとのことで、今作るようにしています。

【事務局】 今、お手元にお配りした資料は、駅に看板がないとのことで、PRの一環として生駒駅、東生駒駅に案内板を設置しようということで、デザインが固まりまして、上が生駒駅、下が東生駒駅に設置する予定です。発注したら、1ヶ月以内にはできると思います。電車のダイヤ改正に伴いまして、ポケット時刻表に病院のPRを掲載して生駒駅・東生駒駅に設置する予定であります。

【井上会員】 PRに関しては、積極的にしているように思われ、すばらしいと思いました。地域連携で少しお教え願いたい。登録医制になっていますが、普通はメリットとギブアンドテイクでないとなかなか運用できないことが多くて、送ることに対する何かのメリットを提供するべきと思いますが、それに関して工夫されていますか。それが1つと、外来の患者はほぼ8割が生駒市民で、2割が市外の方ということで、あまり必要がないのかもしれませんが、保険診療の場合は融通することも難しいですが、生駒市民であることによって市立病院が何らかのメリットを設定しているのかどうか。例えば、初診料は保険診療の範囲の中で病院で設定できることになっていますが、市民なら初診料を少し下げるとかの工夫はしていますか。

【今村副会長】 登録医については、双方にメリットがあるようにしたいと思っております。患者さんも登録医の方の状況がわかっておられることで、受入がスムーズになることもメリットだと思っておりますし、登録医の方だと逆紹介もしやすいです。区別するわけでもないですが、登録医の先生には24時間きっちり対応できるように、連携室で対応できなくても直に当直の先生、あるいは私に連絡していただいたら、入院・検査をすぐに利用出来るようには考えております。もっと、将来踏み込んで、登録医の先生には開放病床など病院の医師あるいは機器を使って連携した診療を出来ないかなというふうには模索しております。

市民についてのメリットはどういうふうにしたら良いのかわかりませんので、今後検討していきたいと思っております。妊婦健康診査補助券があるのですが、生駒市民の方はスムーズに使えますが、奈良市民の方はスムーズに使えません。奈良市民の方は、一旦自費で払って、後日まとめて還付を受けないといけないというデメリットがあるので、その辺では、生駒市民の方のメリットかなと思っておりますが、それは、我々が設定したものではないので、井上会員がおっしゃるような何か市民であるメリットが出来たらいいなとは思っています。

【井上会員】 市立病院ということで、生駒市民の信頼を得ることが非常に重要だと思います。その方向としては2つあり、1つは、診療に関する信頼を得ること。これは、市立病院だけではなく、私のところも同じ条件ですので、市立病院だからといってそれが必要というわけではないように思います。となると、市立病院としてのメリットは何なのかということを考えていかれるほうがいいのではないかと。

もう1つは、奈良県の中で5つの医療圏があり、西和医療圏は東によっていて、今、奈良県の中で問題となっているのは、地域完結型の医療というのが非常に重要視されている中で、東和医療圏はほとんどないのですが、西和医療圏の10%ぐらいは大阪市のほうへ患者が流れています。ちょうど生駒が西の壁になっている中で、生駒市の市民の方々の診療を外に出さないで、市内で何とか頑張って診療を受けていただくということが非常に重要だと思っております。そういう意味で私どもと、市立病院の連携を非常に大切にしないといけないと思っております。県外に流れないように努力をするということも、何らかの考えはお持ちになっておられるのでしょうか。

【小紫会長】 総合病院が閉じたあとに、大阪のほうの病院へ生駒の方が行かれているというデータがあったりしましたが、今は市立病院に来られている方の8割方が生駒市民

の方ということで、大阪に行っておられた方が、市立病院なり、生駒市内の病院に戻ってこられているようなこととか、今日この段階でお答えできることはないでしょうか。普通の外来や入院で大阪の病院に行かれていた方が生駒市内にとどまって、というような何らかのデータは時間があれば出てくるものですか。

【事務局】 少し古いですが、平成25年5月の診療部分で言わせていただくと、市内で入院されている方で31.4%、市外で県内の方が38.5%、県外で30.1%ということで、生駒は30%ほど県外へ出られている結果が出ております。最新の情報で、まだまとまっていないのですが、平成27年5月時点の国保レセプトからみますと市内入院が35%、市外が65%となっております。その辺の細かい資料を集計しているところです。

【小紫会長】 平成27年5月は市立病院ができる直前ということで、大体同じような数字ということで、平成28年5月とかに同じような集計を取る形になるのですかね。

【事務局】 これは、国保のレセプトですので、関係課にデータの整理をお願いしているところです。市立病院ができた時点とか、少し整理させていただきたいです。

【小紫会長】 時間をちょっといただくかも知れませんが、一定の傾向は出るかも知れませんが、先ほど井上会員がおっしゃったことを目指してしっかりやっていかねばならないということです。

【成田会員】 市立病院も含めて生駒全体の病院のPRをして、市外・県外に出ている患者さんを、生駒市で取り込んでいく体制をPRも含めて出来ませんか。救急の約3割が市外に出ている、そこをもっと高める手立てはないのでしょうか。

【小紫会長】 救急に関しては、市の枠を超えた形での運用ルールも県が整備していて市外の病院へ搬送するというような場合もあります。もちろん、脳外の先生がいらっしゃることで市立病院の救急受入率が高まる要素はありますが、市外に運ぶということを完全にゼロにすることでもないと思います。市民の方からすれば、なるべく近いところに搬送してもらいたいというのはあるとは思いますが、消防の搬送ルールもありますし、ルールの中でどこまで上げていくかということになると思います。全体のPRって何か考えられますか。

【山上会員】 先ほども言いましたが、PRは充分されているのではないかと感じています。市民に向けて病院全体で何かアピールすることは良いとは思いますが、それ以上に市民の皆さんもそうでしょうけど、別にいいコマーシャルをしているからこの病院へ行こうという方はあまりおられないと思います。この病院はいいと評判を聞いて行かれる方が多いと思いますので、医療体制の充実に重きをおいていくしかないかと思うのですがいかがでしょうか。

【小紫会長】 ありがとうございます。今のご意見に対して事務局あるいは他の会員の方から。まさに今の口コミみたいなこともそうでしょうし、他の会員の方からもそのあたり、山上先生のご意見に対して、市民の立場から何かございませんでしょうか。

【藤堂会員】 私が住んでいるのは北の方だからかもしれませんが、北地区から受診している割合は少ない部分があって、単に近所の人との雑談の中で、「市立病院に行ったって人いる?」「行ったって人は聞いたことがない。」という会話がありまして、やはり先程市長がおっしゃったように病院は口コミの部分のイメージが結構大事なところがあると思いますので、開院当初でお医者さんが不足しているらしいとか、何かそういうネガティブな情報が伝わってしまっていて、それが塗り替えられていない現状もあるのではないかなという気がします。今回、この会議に医師会の先生方も来ていただいて、これから連携もますますうまくいくようになっていくのではないかなという点では期待しているのですが、最初の頃、何か医師会と上手くいっていないらしいというような噂

とか、いろんなことが市民の間で悪い印象が定着しているとしたら、印象を変えるような情報発信という部分は必要かという気はしています。広報紙にも「形成外科ができました。」のような情報を載せていただいている、実際に先生の写真とかも載っていると親しみが湧きます。病院のホームページを見ていると何か文字だけの部分があるので、そこに広報誌のような感じのソフトな写真などあれば市民としても親しみを感じるのではないかと思います。

【小紫会長】 ありがとうございます。いろいろ貴重なご意見をいただいております。先程事務局からもありましたとおり、医師の数も少しずつ増えています。科によってまだ足りない科もありますが、全体数は20.53名。先ほども紹介があったように麻酔科・リハビリ・整形外科も常勤の先生がいらっしゃるということですし、そのあたりも少しずつ整備しているということも含めて、医師会のほうに、先生にはここにご出席いただくことだけでもありがたいことなのですが、ぜひ市立病院でこういう動きがあるようだという事もおっしゃっていただければありがたいと思っております。私も時々市立病院のホームページを見ます。医師のプロフィールとかも載っていて、少しずつ充実しているかとも思いますが、先程の広報紙の写真のように工夫もあるのかもしれない。

【原田会員】 大阪府内とかで入院や治療を受けている生駒市民がけっこうおられる中で、生駒市立病院で例えばSAS（睡眠時無呼吸症候群）医療とか禁煙外来だとか、一般市民にアピールしやすいようなものを設けることを考えていますか。そういったものを導入することによって、他にはないけれどここにはあるぞといったPRは広がっていくと思います。

【今村副会長】 ぜひ、そういうのも今後やっていきたいのですが、現在のところでは糖尿病外来を早急にしたいというところで動いています。糖尿病とか一般的に多いものが充実してくれば、次にSASの外来とか、それ以外に眼科、耳鼻科とかもやってほしいという意見もあるのですが、そういうことにも目を向けていきたいと思っております。

もう1つは、市立病院がやりたいと思っても、医師が見つからないという現状にあって、医師が見つければ直ちにそっちのほうからもやっていこうとなると思います。市立病院としては大きな方針をもっていますけれども、その中で集まってくれる医者とか考えながら、だんだんと充実していくと思います。もうしばらく待っていただけたら出来ると思います。

【小紫会長】 この4月に整形外科の先生がいらっしゃるということもありました。恐らくどの科も先生がすばらしいとロコミみたいな部分が拡がれば、おっしゃったような効果が出てくるのかと思われました。

他に何かございませぬか。いろいろとご意見をいただきまして、先程、ホームページに情報を公開してはどうかとのご意見もいただきまして、比較的短期的に対応いただけるかなという話から、少し中長期的な話もあるかもしれません。市民向けのPRのところでは、短期間の間にいろんな取組みもたくさんしていただいている中で、セミナーにも沢山の市民の方にご参加いただき、非常に関心が高いところだなというふうにも思っているのです、公開医療講座とかを含めてしっかりと続けていただきたいと思いますし、山上会員からもありましたように、体制作りをしっかりと進めていくというところを当然併せて進めていくことかと思っております。あと市民向けということに加えて、地域との医療連携とか診療所の方との連携というところで、何か山上会員の方から追加的に少しこういう部分も改善したらとか、こうしたらいいのではという点などありますでしょうか。

【山上会員】 医療連携のほうも、年何回かやる計画を立てておられますので、いいかと思っております。悪い話ばかりさせてもらって恐縮ですが、先日、患者さんを入院させていただいたのですが、ちょっと患者さんを見に行きましたときに、私、山上内科医ですと申

し上げると婦長さんが出てこられて、患者さんはこの方ですというのは言っていたいで、大体どんな病院でもドクターを呼んでいただくのはお忙しいので、ちょっと病状でもお伺いしようかと思っていたのですが、すっと思って行かれてしまった。できましたら、どういう病状かなど伺いたいの。どこの病院でもご説明はいただけるので、そういうような簡単な日常的な点から1つ1つやっていただいたら皆さん非常に利用しやすくなるのではないかと思います。

【小紫会長】 貴重なご意見ありがとうございます。また、病診連携の談話会なんかもありますので、しっかり対応していくことと、それによって来ていただいた方をしっかりとこちらでもお伝えていくことかと思ひます。ありがとうございます。

【今村副院長】 残念ながら生駒市民の30%しか市内の病院に入院されていないことはこれから考えていかなければいけないことかと思ひます。生駒は、ここに来られている山上先生をはじめ、かかりつけ医の先生方が医療をしっかりとやっておられて、休日診療所もやっておられて、その辺は1次医療が充実していると思ひます。もう1つは、井上先生がおられるように生駒は大学病院もあって、高度医療もかなり提供できる条件もあって非常に医療環境としてはいい環境だと思ひます。しかし、間を取り持つ病院が充分なかったことで、市立病院が間を取り持つような病院になればいいのではないかと思ひます。かかりつけ医の先生と密接に連携しながら、入院が必要だということになれば受け入れて、救急などもスムーズに受け入れて、もっと高度医療が必要な時に近大のほうに紹介して、生駒市内でなるべく医療が完結するようにもっていったほうが生駒市民のためにもなるのではないかなと思ひます。今までその辺が不足していたので直に大阪市内の病院で治療する方がおられたのではないかと思ひます。今後とも医師会の先生方と近大の先生方と連携しながらやっていくのは生駒の医療のためになるのではないかと思ひますので、先生方よろしくお願ひいたします。

【小紫会長】 PRのあり方についていろいろご意見をいただきました。具体的に反映できそうな提案もいただいたので、市役所と市立病院と相談しながら出来ることから速やかに対応していきたいと思ひます。また、いただいたご意見の中で、レセプトの分析も6月になるかその次になるか未定ですが、整理して出させていただきたいし、ご意見いただいたものも整理して資料を出させていただきたいと思ひております。

(2) その他

事務局連絡事項

- ・次回開催日程は6月を予定。
- ・議題は平成28年度の事業計画及び平成27年度の事業報告と生駒市病院事業計画の実施状況について予定。改めて事務局から日程調整を行う。
- ・会員の任期について設置要綱第4条で会員の任期は2年とあるが、初年度は年度途中の開催となったことから、今回の会員の任期としては平成29年3月31日となるよう要綱を改正させていただく。なお、後日、改正要綱案を送付させていただく。

6 閉会

【小紫会長】 本日は大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。当協議会も手探りですが、おかげで、第1回目からいろいろとさせていただいており、この2回目につきましては、新たに井上会員、山上会員にも加わっていただきまして、より深みのあるご議論をいただいていると思ひます。今後とも、市立病院、そして市役所としても、しっかりと頑張っていりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。